



不法投棄物の撤去に励む参加者
＝鹿児島市の現地で

県建造物解体業連合会(江藤正幸会長)は27日、鹿児島市内の7カ所で不法投棄物の撤去の奉仕作業を実施した。同連合会や鹿児島市環境総務課職員らが参加し収集した不法投棄物は、4トン車で何十台分のものだった。今年度の奉仕作業には会員ら約100人が参加。江藤会長が「不法投棄物の撤去・処分は市民活動で

毎年実施しているが不法投棄は減らない。不法投棄は、土壌・地下水の汚染、自然環境の保護、地域への負担にもつながる。作業では、けがや事故のないよう気を付けて頑張ってもらいたい」と述べた。同日は、旧臨川処理場跡に集合し、作業場の注意や分別収集などの徹底などの説明を受けた後、トラックや自家用車等に

分乗し小野町や下福元町方面等の計6カ所の作業場所に向かった。このうち、小野町の市道近くの現場では、「不法投棄は犯罪」との看板が設置されているにもかかわらず、不法投棄が恒常化し、道路下には2、3メートル以上入った大型のフォークローダーなどの重機を使ってダンブに積み込まれた。投棄物は、クーラー、テレビ、冷蔵庫などの家電製品、農具、土管、仏壇など多岐にわたった。不法投棄



スタート前に写真に納まる参加者
＝臨川町のグリーンヒルCCで

よかにせ会ゴルフコンペ

福永さんが見事優勝

川内地区を中心とした県業連合会が構成する、よかにせ会(総元幹治会長・柳サテツク九州)は28日、薩摩郡臨川町の

優勝：福永信郎(準優勝：北園富樹(キタノ) 坂達一(業)▽3位：須利 辰彦(業)▽4位：徳丸祐一(南日機工 業)▽5位：藤久晃(業) サテツク九州)

かなめ会ボランティア(伊藤俊一支部長)は27日、「建築の日」にちなみ市内各所でボランティア作業を実施した。当初予定していた20日が台風の影響で中止になったのをこの日に順延されたもので、作業には会員ら35人をはじめ市職員らも参加して市営住宅周辺で

かなめ会(芥ヶ野裕史会長)は27日、川内市西方町の社会福祉法人西方面の福祉施設(西風)で、ヤス子園長で樹木剪定

の点検・修理、隣地に垂れ下がった樹木の剪定、側溝泥上げ清掃、園庭の除草など施設整備及び、車庫の方々、特に若い男性方に点検・清掃などのボランティアアワードを感謝状を授け、出入りロビーなどの建付け調整、水回り

の現状を乗り切る知恵を出し合うと共に親睦も図りながら、多くの人が楽しんでもらえるボランティアを通じて地域貢献を、今年4月に発足、2カ月ごとに定例会を開いて情報交換を行い、順次で続けていく予定。

当日は、集まった22人の参加者を前に松元会長が「3カ月振りに元気に皆さんと再会できた事をうれしく思い、本会のモットーである親睦を旨として今日の一日を早速3組ずつアウトラインに分かれてスタート、抜けるような軽やかな下、絶妙のバットでガッツポーズする人、石を左へ走り回る人、気心知れた相手との舌戦も活発に熱戦を繰り広げた結果、福永さんが優勝した。

木の伐採や雑草除去

「建築の日」にちなんで



高木の枝を伐採する会員
＝名瀬市の現地で



園児も手伝った除草作業
＝川内市の同園で

伊佐建設、鯉の稚魚放流

地域住民に恩返しを(伊佐建設 山下猛社長、伊佐郡新町)は29日、大口市田代で、鯉の稚魚約1万匹の放流を行い、地域住民に喜ばれた。放流した場所は、同社が施工している県道出水新線の大口市田代区沿いの田代川。地域との交流や、建設業イメージアップのため、工事最終日となったこの日、現場近くの住民らと共に実施した。放流を行ったのは地元住民を代表して近所に住む山口美奈さん。同社職員10人、タンクからポリバケツで稚魚をくみ上げては、放流していった。放された稚魚は流れに逆らって上流へと勢いよく泳ぎだし、見守っていた人々は思わず拍手を送っていた。



地元住民と放流した鯉の稚魚
＝大口市の現地で

グリーンヒルCCで定例ゴルフコンペを開き、秋晴れの絶好のゴルフ日和の下、和気あい々と親睦を深めたが、熱戦を繰り広げた結果、福永信郎さんが優勝した。

当日は、集まった22人の参加者を前に松元会長が「3カ月振りに元気に皆さんと再会できた事をうれしく思い、本会のモットーである親睦を旨として今日の一日を早速3組ずつアウトラインに分かれてスタート、抜けるような軽やかな下、絶妙のバットでガッツポーズする人、石を左へ走り回る人、気心知れた相手との舌戦も活発に熱戦を繰り広げた結果、福永さんが優勝した。

土木一式工事・建築一式工事
解体工事・家屋曳移転工事

株式会社 大城

県営事務所(特-12)第4087号
本 社 鹿児島市宇留町1955-1
下 荒 田 事務所 鹿児島市下荒田1-18-2

☎(099)275-3600 内
☎(099)254-3938 外